



## \*10月の第五中学校図書館\*

読書週間にあわせ10月28日からひとり3冊まで本の貸し出しをします。たくさんの人が図書館を利用し『読書の秋』を満喫してほしいと思います。また新刊図書の配本の準備も進めていますので、準備ができ次第貸し出しをしたいと思います。多くの人が館内の本を読むことができるように返却日を守って利用をしてください。協力をよろしくお願ひします。

## \*図書委員会活動\*

1学期に制作をした唐津市近代図書館のイメージキャラクターブックルくんと、委員会活動で書きあげたおすすめの本の紹介を文化発表会の時に図書室前に展示をしました。10月22日の放課後に近代図書館に贈呈しました。近代図書館4階に展示をされていますので、機会があれば見てください。(完成した写真を掲載)

## \*読書週間期間です\*

10月27日から11月9日は『読書週間』です。今年度の標語は、『この一行に 逢いにきた』です。朝の読書の時間に読み進めている本があると思います。心に響く言葉や文章があるかもしれません。自分のペースでぜひ本を読み終えてみましょう。



## \*読書週間の歴史\* (参照：読書推進運動協議会HPより)

終戦の2年後の1947年(昭和22年)、まだ戦争の傷あとが日本中の至る所に残っている時、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」という決意のもと、第1回読書週間が開催されました。それから約80年『読書週間』は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まってきています。今年の『読書週間』が読書への関心と読書習慣を確立し、読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなることを願っています。

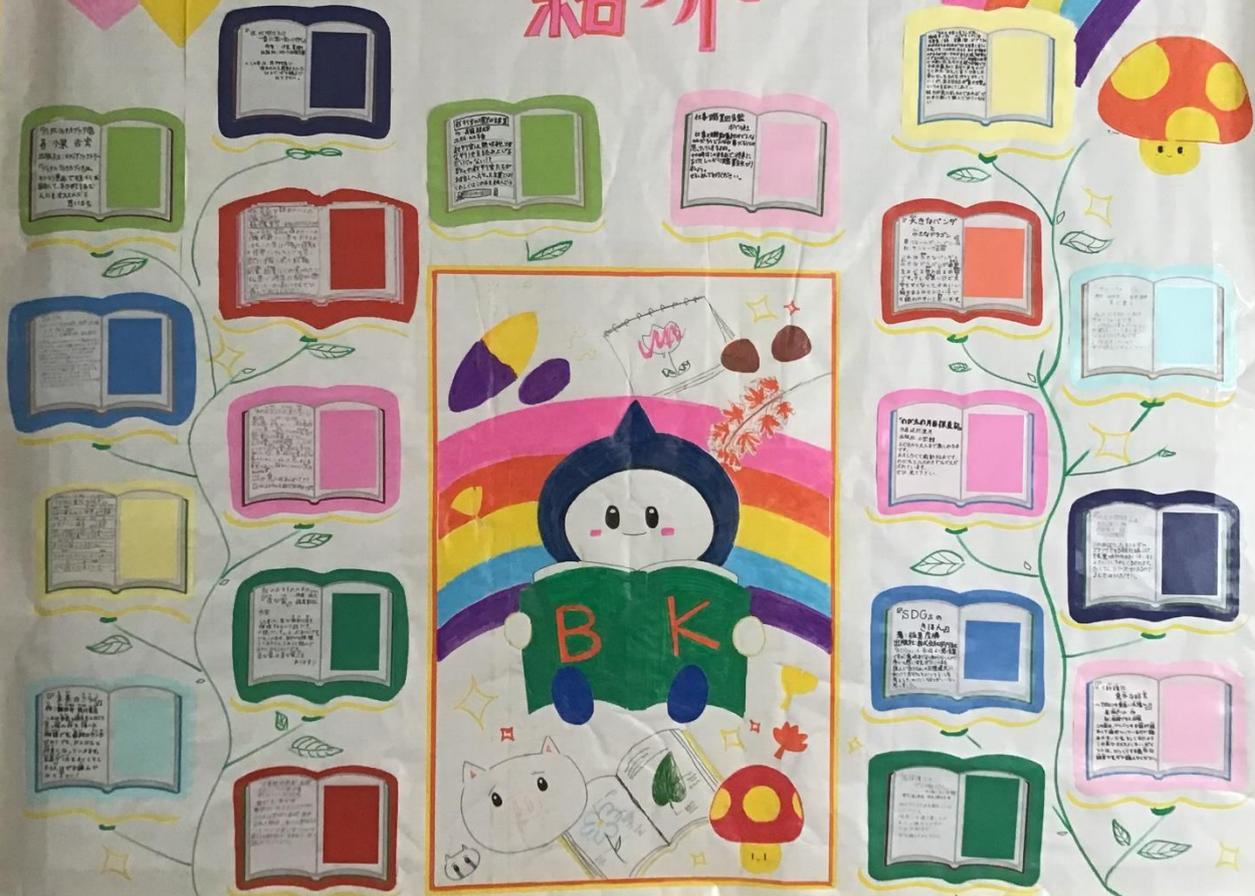
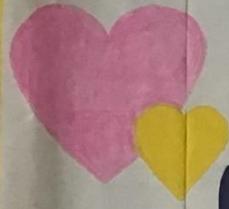
## \*読書週間マークの由来\* (参照：読書推進運動協議会HPより)

その昔ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵をつかさどる美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ(アテネ)の聖鳥でもありました。古代のギリシャの人たちは、賢そうな丸い目で、すまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしていたそうです。森の奥深く静かに瞑想にふける「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとして最もふさわしいものと考え、長い間使用されています。

からっしりったいこちうがっこう  
唐津市立第五中学校

# オススメの本

ほん  
しょうかい  
紹介



唐津市近代図書館の4階に  
展示されています。  
またホームページにも  
掲載されています。